

一般質問解説

東海第二災害発生時の広域避難計画の策定状況は？

避難所 1 人当たり 2 m²の避難計画は完成済、3 m²は策定中

でも、住民が本当に知りたいことは、

- ①災害の状況、②いつ、③どこのICから、
④3市のうち、どこの市に避難するのかのみ！

以前のみな風でもご紹介いたしましたが、東海村では右図の「東海村広域避難経路図」で、③どこのICから、④つくばみらい市、守谷市、取手市の3市のうちのどこの市に移動するのかを示しています。しかし、多くの村民はこの情報を正確にご存じないので、ここで再びご紹介します。



東海村広域避難経路図

避難経路・避難先一覧

地区	行政区名	主な避難経路	避難先市
石神	外宿一、外宿二、内宿一、内宿二、竹瓦	国道6号→常磐自動車道 (東海スマートIC)	守谷市
村松	宿、照沼、川根、原子力機構箕輪	国道245号線→東水戸道路 (常陸那珂港IC)→常磐自動車道	取手市
白方	白方、豊岡、岡、百塚、亀下 原子力機構百塚、豊白、村松北	常陸那珂湊山方線→常磐自動車道 (東海スマートIC)	つくばみらい市
真崎	真崎、舟石川三、原子力機構荒谷台	常陸那珂湊山方線→常磐自動車道 (東海スマートIC)	取手市
中丸	押延、須和間、舟石川中丸、原子力機構長堀 緑ヶ丘、南台、フローレスタ須和間	国道245号線→東水戸道路 (常陸那珂港IC)→常磐自動車道	取手市
舟石川・船場	船場、舟石川一、舟石川二	常陸那珂湊山方線→常磐自動車道 (東海スマートIC)	取手市

東海村6地区の避難経路と避難先

本村の6つの地区で、左表のとおり避難経路と避難先の3市が定められています。私はこれだけ覚えていただければ、東海第二発電所で原子力災害が発生したとしても、村の避難指示により避難行動可能と見ています。避難経路図は、QRコードから詳しくご確認ください。ダウンロードも可能です。

一方で、茨城県が他の自治体の避難計画を纏めて、初めて広域避難計画が完成されますから、東海村が策定する広域避難計画は、計画全体の一部に過ぎません。茨城県が纏めた広域避難計画が完成後、県とともに村の説明を受ければよく、現時点で計画の評価は意味を成しません。そして、**広域避難計画の公表前は、完成している元計画の避難所 1 人当たり 2 m²の元計画を準用することが確認**されました。

それにしても、震災前の茨城県による東海第二発電所の津波対策指導や、震災時の日本原電の津波対応の成功により、東海村住民を含むUPZ 圏内の96万人は、福島事故と明暗を分けて難を逃れました。これら東海第二の実績を踏まえてもお、福島に心を寄せつつ、早期の広域避難計画の策定を求めて参ります。

みかみ修の議会一般質問を傍聴して

議会本会議で議員と執行部のやり取りは、議員が予め質問内容を通告し、執行部はその内容に沿い、現状で出来るものは進め、検討を要するものは「検討します」となるのが一般的です。検討課題に対して、その後、検討した結果が住民に知らされることは殆どない。

6月定例会では、三上議員が過去に質問して検討事項になっていた案件を再度質問したのは、議員として当然の仕事であると感じた。質問事項を通告し、それに基づく回答は、住民から「議会はセレモニー的」とか「出来レース」などとの声も聞きますが、議員の今回の質問は、真に実のある議会運営とともに、住民の声に応えながら、私たちとの約束のひとつを実行したことに大いに評価したい。(村松北N・O)

議会質問は、このまわりの在り方の議論を重ね深めるものです



この村政報告書は、営利や勧誘を目的としたチラシ、ダイレクトメールではありません。

みなみ風

Minamikaze Vol. 12

東海村議会議員 みかみ修後援会村政報告 2023 年 夏号

☎: 090-1837-3989 e-mail: mikami_osamu@nifty.ne.jp



みかみ修
フェイスブック



6月議会定例会のトピックス

1. 令和5年度一般会計補正予算を可決

東海南中の校舎長寿命化工事を可決 総工費 3 億 580 万円

【みかみ修の一般質問】

- ・避難所 1 人当たり 2 m²の避難計画は完成済、3 m²策定中
- ・東海第二 5 km 圏外の須和間地区にスーパーが必要
- ・須和間霊園の合同慰霊施設の建設は？
- ・村内各種団体の活動をどう評価する？

【連載】エネルギー・アイ みんなの電気 第10回 碍子(がいし)の話



議会一般質問映像
QRコードをスマホ
のカメラで読み込
んでください

みかみ修の議会一般質問

皆様の議会傍聴を心からお待ちしております

・東海第二 5 km 圏外の須和間地区にスーパーが必要

東海村の殆どの地区は、東海第二発電所から 5 km 圏内です。事があれば即時避難が必要となるエリアとして指定されていますが、フローレスタ須和間、南台及び船場地区の一部は 5 km 圏外ですので、発電所の原子力災害時は、屋内退避も可能となる場所でもあります。この地区にはスーパーがありませんが、食料品や生活用品の供給元があることは、原子力発電所立地の本村として特別な意義があると私は考えます。

既存の都市計画の問題はありますが、須和間地区には水戸外環状道路という高規格道路の建設が決定しておりますから、時代の流れに合った対応を求めて参ります。

・須和間霊園の合同慰霊施設の建設は？

私が村内をうろうろしておりますと、村営の合同慰霊施設が欲しいというご要望を多くいただいております。中には、現在所有している墓地の墓仕舞いをしたいとか、納骨をせずに合同慰霊施設の建設をお待ちになっておられる方もちらほら。

墓地を子孫が代々守り切れない社会状況の変化や、震災以降、墓石の管理の難しさなどの事情が背景にあります。例えば、自治会や地域のサークルで一緒だった方々と、彼方でも一緒にいることができる合同慰霊施設は、新しい地域の価値を導き出す救世主になると確信し、引き続き取り組んで参ります。

・村は各種団体の活動をどう評価する？

本村では秀逸な芸術文化、スポーツ、ボランティア等の活動が展開されています。本村はあるときには、厳しい意見の対立で住民が二つに割れる状況にあって、正にオアシス的な存在。このレベルの高い各種団体の活動は、本村がしっかり評価しつつ後世の財産とするよう求めました。引き続き関係団体のご活躍を見守って参ります。



みかみ修は、ペーパーレス
のタブレットで一般質問



第10回 碍子(がいし)の話 村を横切る電線～常陸那珂火力線

東海村の常陸那珂火力発電所から、照沼、川根、須和間地区を抜けて那珂市方面に向かうとても大きな送電鉄塔があります。国道245号線の鉄塔付近を通過するとき「大きくて美しい」と思いながら眺めています。火力発電所からの送電電圧は、今のところ27万5千ボルト(275kV)ですが、鉄塔は50万ボルト(500kV)で設計されています。当初は50万ボルトで計画されていましたが、その後の社会情勢に合わせて27万5千ボルトで運用中ですから、送電線には余裕があります。今後も電源の拡充が期待されます。最近の送電線は、アルミニウム合金のより線で作られていて、鉄塔は文字通り鉄で作られていますから、電気を流すと送電線から鉄塔に電気が伝わって地面に漏れてしまいます。この電気の漏れを防ぐのが「碍子」(がいし)と呼ばれるある種



写真1 南台脇から望む送電線
常陸那珂火力線

の石の粉を焼き固めた部品を使って、送電線と鉄塔を隔離しています。(右下写真2) この電氣的な隔離を電気用語で「絶縁」と称します。また、送電線を吊るす碍子を特に「懸垂碍子」と言います。

碍子は、美術館収蔵級の茶碗や高級な様式便座と同様、1,200℃以上の高温で焼成する「磁器」です。(写真2) 表面の釉薬(ゆうやく)は、空気中の汚れや薬品にも強く、某TV局の鑑定番組に出したら、「いや～、いい仕事してますねえ～」と言われそうな、何10トンもの送電線の引張力はもとより、台風や地震の荷重にも耐える優れモノ。

電気の漏れは防がねばなりません、社会の発展と安定に欠くことのできない電気を作り続ける流れは、決して止めてはなりません。



写真2 鉄塔と送電線を
絶縁する懸垂碍子

ドリームたんぽぽ 笠松運動公園近くの馥郁とした赤い屋根

今日もみなみ風を持って村内をうろうろ。住民の声を拝聴しながら、道路の欠損や子どもたちの通学路の状態を確認しながら。船場地区はいつも清々しい風が吹いている「風の丘陵」、素晴らしい農作物がこの地で生産されています。この船場地区の笠松運動公園に接する林道を抜けると、象徴的な赤い屋根の建物が忽然と現れます。(写真)



特徴的な赤い屋根
NPO 法人 ドリームたんぽぽ
東海村船場 616-4

ここはNPO法人「ドリームたんぽぽ」障がい福祉サービス事業所です。私たちの仲間が、障がいの壁を越えて自立を目指し、日々訓練を重ねています。そして、パンを焼き上げる馥郁たる香りが周囲を包み、ひと時の安らぎを与えてくれます。

村内外の色々な場面で多数出店して、ご自慢のパンで幸せを運んでいただきたい。たんぽぽの種のように風に乗って、どこまでも。持続可能な社会形成に向け大いなるご活躍に期待します。営業：月-金10時～、休：土日祝

みかみ修の意見1 こども食堂の支援が必要

あらら、今日は雨かぁ……。6月3日は東海村社会福祉協議会の「福祉まつり」。早朝は生憎の雨でしたが前日までに綿密な打ち合わせと準備を進めてきた面々は強い雨をもろともせず、黙々と会場を設営。この会場でひと際目立つパネルを出していたのは、東海村第1号のこども食堂「はぐもぐ」。当日お手伝いいただいた高校生2人の大活躍もあって、用意したカレーは見事完売。



高校生の見事なサポートで完売

私は、比較的裕福な住民が多いと言われる本村の経済状況を、実は鵜呑みにしておりません。村内を歩いていると子どもたちを取り巻く経済状況は、時に些か芳しいものではないと感じる状況もあり、こども食堂の拡充や運営の強固な支援が必要と考えております。

ご存じですか、6月と7月の上水道料金は無料

物価高騰が著しいことから、本村では村民の支援策として6月と7月の上水道料金を無料とする令和5年度の水道事業補正予算を可決しました。(下水道料金を除く)水は貴重な資源だから、有効活用をお願いします。それにしても、あらゆるものが高くなったという感じを受けますが、村内のガソリンは他の市町より安いですから、給油は是非村内の給油店でどうぞ。



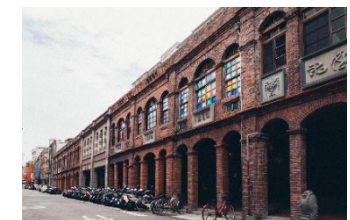
元駐在員が教える台湾の名所・名店 迪化街

東京では海外の観光客が、東京浅草近くのかっぱ橋道具街や上野のアメ横に押し寄せて大変賑わっておりますが、台北にも迪化街(ディホアジエ)という漢方薬をはじめ、フカヒレ、燕の巣、ナマコ、からすみなどの高級食材に加え、ドライフルーツ、椎茸などの乾物を取扱う店舗が集結する通りがあります。日本のアメ横を彷彿とさせます。

台北市は、この近くを流れ台湾海峡に繋がる淡水河という大きな川から入って来た中国福建省の商人が、この地区で商売を始めたことから発展して行きました。言わば台北発祥の地なのです。台湾語が中国の福建省南部の言葉(閩南語)に近い発音であると言われるのもこの所以です。迪化街に残された古い建物は文化財として保護され一部修復、今も尚福建省の厦門(アモイ)市の雰囲気漂わせるレトロな風情が、観光客を引き留めてやみません。

そして日本でも著名な名利龍山寺は、福建省の商人が航海と台湾のこの地の安寧を願って280年以上も前に建立されました。

台北市の鎮守として、長きに亘り人々の平安を見守り続けています。



レトロな雰囲気を残す
迪化街



台北には便利な
茨城空港から